

「自治体非正規労働者」記者会見 8月12日

大阪自治労連は、会計年度任用職員制度の本質的な問題を指摘しながら、雇用の安定と処遇改善を求めて取り組みをすすめるなか、8月12日に「自治体で働く非正規労働者の実情を知ってほしい」と大阪市内で記者会見を行いました。

冒頭、有田委員長は「制度が変わっても実情はますます厳しい状況になっている。雇用不安の解決や賃金・労働条件の改善は住民福祉の維持と向上に

つながることを知っていただきたい」と話しました。

年収ダウン、生活できない 絶望感を抱く職員も

保育士の川見真弓さん（吹田市関連労組）は「フルタイム任用で、正規職員と一緒に担任として保育をしています。2019年度と比べて2020年度の年収が下がってしまいました。保育の仕事が好き、でも人が集まらない。賃金が低く生活できない実情を知ってほしい」と語りました。

学童保育指導員の川崎みゆきさん（吹田市関連労組）も「年収でみると1か月分の収入が減らされました。何も悪いことをしていないのに」と絶望感を抱いた指導員もいます。民間職場では均等待遇や無期雇用転換がすすんでいますが、自治体非正規はそうなっていない。市役所や公共施設にいる職員が多くが会計年度任用職員です。その多くが同じような状況であることを知ってもらいたい」と訴えました。

経験加算も処遇改善もなし 法制度を変える取り組みを

郷土資料室で33年働いている鳥取登代子さん（貝塚市職労）は「経験加算給はないので、1年目の方と同じ時給です。処遇改善を期待しましたが、名前が変わっただけで何も変わっていないです。誇りと喜びを持って働けるようにしてほしい」と訴えました。会見の最後に、関連評議会事務局長の曾我友良さん（貝塚市職労）が「根本的な課題は法制度を変えること。労働組合として国や総務省などに実情をもって要請していきたい」と締めくくりました。



雇用不安の解消 賃金・労働条件を改善して働く誇りと喜びを感じたい

このシンズマがえいが



フィッシャーマンズ・ソング コーンウォールから愛をこめて

実話を基にした、中高年漁師たちによるコーラス・バンドのサクセス・ストーリーです。コーンウォール地方はイギリス南西部に位置し、独特の文化をもつ風光明媚な観光地、その小さな港町が物語の舞台。ロンドンのレコード会社で働くダニーは、上司や同僚たちとバカンスでこの町を訪れ、羽目を外して大騒ぎした、その翌日、浜辺で歌う漁師バンドの姿をたまたま目にしました。上司が冗談で、このバンドと契約を結べとダニーに命令したため、彼は一人この町に居残るはめに。リーダーのジムと交渉を始めたダニーは、漁師たちと接するうちに次第に彼らの歌唱力と誠実な人柄に魅せられ、仕事にやりがいを感じるようになります。ジムの娘で民宿を経営するオ

漁師バンドがイギリス中を 席卷する奇跡の実話！

ーウエンの協力もあって、ようやく契約にこぎつけ、バンドメンバーを伴いロンドンにやって来ますが、事はそんなにうまく運ばず、バンドのメジャー・デビューに向けてひとり奮闘するここに…。

労働の喜びや苦しさ、郷土への愛、海で起こった哀しい出来事などを唄う、漁師たちの力強い歌声が全英で熱狂的に受け入れられるストーリーは痛快です。まずは、彼らの素晴らしい歌声とコーンウォールの美しい景色をお楽しみください。伝統に誇りをもつ素朴な人々と魂を揺り動かす音楽に出会い、都会人としての価値観を覆され人間的に成長するダニーにもご注目を。作品のモデル「フィッシャーマンズ・フレンドズ」は、今もイギリスで活躍中のバンドです。

Culture Navi かるちジャーナル

作りませんか



中華サラダ

交野市職労 国武 裕次さん

協力：現業評議会・給食部会

さっぱりとおいしい 学校給食の定番サラダ



材料（4人分）

■焼豚40g、チンゲンサイ100g、緑豆春雨12g、にんじん20g、酢8g、砂糖2g、塩1g、淡口しょうゆ8g、菜種油8g

作り方

- ①焼豚は10ミリ幅に、チンゲンサイは12ミリ幅に切る。
②緑豆春雨は食べやすい長さに切り、にんじんは3ミリ×3ミリの千切りにする。
③焼豚・チンゲンサイ・緑豆春雨・にんじんをゆで、流水にさらし粗熱を取り、水気をしっかりと切る。
④③をよく混ぜあわせる。
⑤酢・砂糖・塩・淡口しょうゆ・菜種油をよく混ぜあわせ③と和え、冷蔵庫で冷ましてでき上がり。

つるっ・スルスル〜・シャキシャキの食感と甘酸っぱい手作り中華ドレッシングがクセになるやみつきサラダです。酢・砂糖・塩・淡口しょうゆ・菜種油は、調節してください。「もう一品」と思った時にはぜひ。

心に響くこのひとこと

みんなが爆弾なんかつくらないで きれいな花火ばかりつくっていたら きっと戦争なんて起きなかったんだな 山下 清(1922年~1971年)

テレビドラマ「裸の大將放浪記」でご存じの方もおられるでしょう。代表作「長岡の花火」を制作した後に語った言葉です。長岡市は、1945年7月、アメリカ軍の原爆の訓練として全国で49の「模擬原爆」が投下された都市のひとつです（大阪にも投下されています）。その直後に長岡空襲がありました。大林宣彦監督作品の映画「この空の花ー長岡花火物語」（2012年）には山下清のこの言葉がでてきます。

今月の 記念日

国際識字デー 9月8日

1965年9月8日、イランのテヘランで世界文相会議が開催され、世界各国の文部大臣が、教育のあり方について話しあいました。この会議で、当時のイラン国王が各国の軍事費の一部を識字教育に充てることを提案。会議終了後、この提案を受けてアメリカの大統領が、アメリカ議会で9月8日を「国際識字デー」に定めることを呼びかけました。それらの動きをへて、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が国際デーのひとつとして、国際識字デーを制定しました。そして、翌1966年9月8日、1回目の国際識字デーが祝われました。